



# 信頼をブランドの力に。 「自称」から「認証」へ

FBIA製品認証・登録活用ガイド

ファインバブル技術の価値を可視化し、  
市場での圧倒的優位性を実現する戦略的アプローチ

(一社)ファインバブル産業会 (FBIA)

# 拡大する市場と、消費者の「迷い」

ファインバブル市場は急成長を遂げる一方で、性能が不透明な製品が溢れる「玉石混交」の状態にあります。優れた製品であっても、客観的な証明がなければ価格競争の波に飲み込まれるリスクがあります。

## The Problem (Chaos)

# 玉石混交

【消費者の視点】 本当に効果があるのか？  
どれを選べばいいのか？

## The Solution (Clarity & Trust)

# FBIA

【ビジネスの危機】 性能の自己主張だけでは、  
ブランドの強固な信頼は構築できない。

# 認証がもたらす3つのビジネス価値



## 3. 安心 (Peace of Mind)

厳格なファインバブル性能、効果、品質体制を第三者機関が証明。



## 1. 信頼 (Trust)

消費者がFBIAマークを見て安心して購入できる確証。



## 2. 差別化 (Differentiation)

他社製品との明確な性能差をISO・FBIA基準でアピールし、市場の信頼度を獲得。

技術力を「売上」に直結させる、ファインバブル市場における最強のパスポート

# あらゆる製品カテゴリで進む、「認証」による価値最大化

FBIA



## シャワーヘッド

独自の洗浄メカニズムを認証で裏付け、美容・ヘルスケア市場での優位性を確立。

FBIA



## 温水洗浄便座

「見えない汚れへのアプローチ」という付加価値を、客観的データで消費者に確約。

FBIA



## 元付ファインバブル発生器

住宅全体の水質向上というスケールの大きな提案に、揺るぎない技術的根拠を付与。

FBIA



## 給湯器

インフラ機器としての高い信頼性要求に対し、国際規格に基づく性能証明で応える。

# 審査はシンプル。証明すべきはこの3点

専門用語の壁はありません。

FBIAが確認するのは、製品の「基本価値」と「品質」のみです。

## ① FB性能

(存在の証明)

ISO規格等に基づいて測定された性能データを確認。

## ② FB効果

(価値の証明)

実用に近い定量的な実験によりファインバブルの効果を検証。

## ③ 品質管理

(体制の証明)

量産品において品質が一定水準に維持できる生産体制を審査・確認。

FBIA

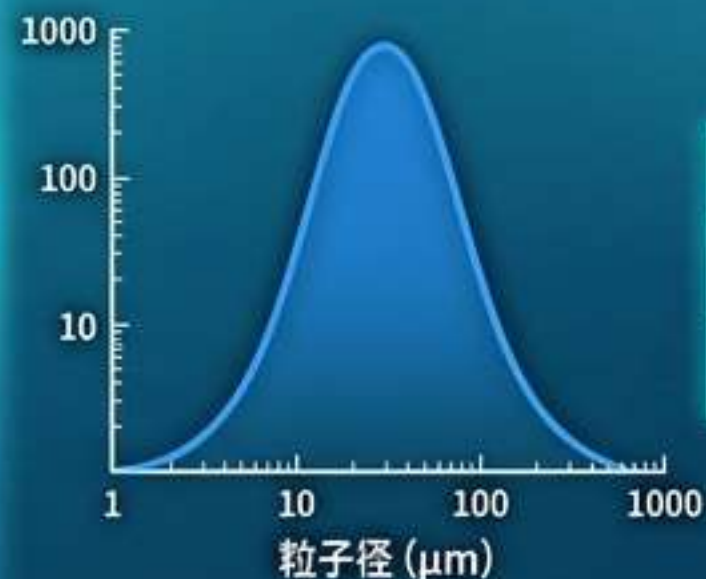
# ① 性能測定の基準：厳格な測定データ

実使用環境における確かな性能を、指定機関で証明します。

## 測定システム



## 測定データ



1	平均粒子径	120 nm	100-200 nm	適合
2	粒子数濃度	$5.3 \times 10^6$	$>1.0 \times 10^6$	適合
3	D90	180 nm	$<300 \text{ nm}$	適合

### 【通常使用条件での測定】

FB性能の測定は、申請対象製品が「通常使用される状況下(水圧、流量、水温等)」において実施すること。

### 【指定ラボでの測定必須】

FBIA指定ラボでISOまたはFBIA測定規格に沿った測定をすることが必須条件である。

## ② 効果データの要点：ビジネスに直結する「効果のポイント」

膨大な研究論文は不要です。実際の使用条件における合理的な効果試験データをご準備ください。

### 効果のポイント：合理的な効果試験データ



### 効果のポイント：現実的効果の証明



水道水



ウルトラファインバブル水

### ③ 品質管理：確かな製品を届け続けるための体制証明

ファインバブル性能に影響する部品及び製造工程等を厳格に確認します。

#### 提出資料による設計・工程の確認



【提出資料の一例】

製品仕様書、製品組立図、重要部品図、QC工程図…等



#### 工場監査の実施



スピードと効率を両立するため、  
製造工場の現地監査を実施いたします。

※製品の特性に応じ、上記以外の資料をご提出いただく場合があります。

※現地監査はオンラインで行います。

# 圧倒的なROI：「正会員」参画がもたらす中長期的メリット

認証取得は一過性のコストではありません。戦略的に「正会員」を選択することで、長期的な運用負担を最小化できます。

## メリット1：ランニングコスト削減（維持費の最適化）



基本の認証維持費が非会員と比較して年間40万円の差に抑えられます。

## メリット2：更新サイクルの長期化（運用負担の最小化）



正会員のみ「3年に1度」の更新（※非会員等は2年毎）。中長期的な費用と社内リソースの大幅な削減に直結します。

# OEM製品認証制度：市場参入のゲームチェンジャー

圧倒的スピーディな展開を可能にする仕組み

【OEM元製品（認証取得済）】

既にある膨大なデータを完全活用。



データ引継ぎ

FB性能  
データ

FB効果  
データ

品質管理  
データ

【貴社OEM製品】

広告審査クリアで、信頼の  
『認証マーク』をアピール！



【OEM契約審査】

同一製品であることを契約書で確認。  
指定ラボでの新たな測定は一切不要。

# コスト最小限でOEM認証を取得！

通常認証	OEM認証
審査の負担：測定・品質の全審査	審査の負担：契約確認と広告審査のみ (データ引き継ぎ)
初期審査料：40万円	初期審査料：40万円
認証維持費/年：50万円～	<b>不要 (0円)</b>

# 信頼を武器に、 次のステージへ。

「自称」から「証明」へのシフトは、  
製品の価値を最大化し、市場シェアを  
拡大するための最短ルートです。

申請の第一歩は、コストのかからない

「事前打合せ」から始まります。

御社の製品に最適な認証アプローチを、  
FBIA事務局と一緒に考えましょう。



FBIA

[お問い合わせ先 /  
事前打合せのお申し込みはこちら]



[www.fbia.or.jp](http://www.fbia.or.jp)  
[reg@fbia.or.jp](mailto:reg@fbia.or.jp)